

## (2) 第三セクターの経営改善計画の進捗状況について

「第三セクターの見直しに関する指針」により、単年度収支及び剰余金がマイナスの第三セクターは、すべて「経営改善計画」作成の対象となることから、次の5社が、令和4年度から3年度間の経営改善計画を作成している。

### ① 「経営改善計画」作成対象第三セクター

- 1) (株) 鳥海高原ユースパーク (ミルジーほか)  
⇒ **【債務超過・市貸付金 27,000 千円・民間貸付金 3,000 千円 (羽後信金)】**
- 2) (株) 大内町交流センター (大内道の駅ほか)  
⇒ **【債務超過・民間貸付金 17,910 千円 (羽後信金)】**
- 3) (株) 黄桜の里 (東由利道の駅ほか)  
⇒ **【債務超過・民間貸付金 35,691 千円 (羽後信金・日本政策金融公庫)】**
- 4) (株) フォレスタ鳥海 (フォレスタ鳥海)  
⇒ **【市運営費補助金 20,000 千円・民間貸付金 5,992 千円 (秋田銀行)】**
- 5) (株) 岩城 (岩城道の駅ほか)  
⇒ **【指定管理終了により R5.3 清算】**

### ② 市の点検・評価について

- ・「第三セクターの見直しに関する指針」により、計画は、毎年度、行政改革推進本部の内部検討委員会において進捗管理を行うこととしており、令和5年3月に解散した(株)岩城を除く4社から、令和4年度の決算資料及び、経営改善計画の進捗状況に関する自己評価の提出があり、これをもとに、6月23日開催の行政改革推進検討委員会(内部検討委員会)で、点検・評価を行っている(詳細は「資料3-2」のとおり)。
- ・指針では、計画の最終年度に、経営改善計画目標を概ね達成した場合は、新たな目標を定めさらなる改善を進め、達成できなかった場合は、事業廃止の検討又は抜本的な経営改善を求めることとし、また、経営悪化時の対応として、速やかな事態の解消に向け新たな経営改善計画の提出を求めるとしている。
- ・市運営費補助金がなければ、(株)フォレスタ鳥海を含む4社すべてが債務超過状態で、また、昨年度に続き単年度損失を計上しており、経営悪化の状況が続いている。
- ・このため、令和5年度以降の経営改善計画について見直しを求めるとともに、5年度の進捗状況によっては、事業の存廃や、法人のあり方についても検討する必要がある。

### ③ 今後の流れ

- 7月 経営改善計画の進捗状況評価を公表。各社に計画の見直しを求める。
- 10月~ 上半期の実績確認。状況により事業の存廃等を含む検討を実施。
- 1月~ 第三四半期までの実績、決算見込みを確認。状況により法人のあり方を含む検討を実施。

### 第三セクター各社の令和4年度決算状況

(単位：千円)

名称		株式会社 鳥海高原 ユースパーク	株式会社 大内町交流 センター	株式会社 黄桜の里	にしめ物産 株式会社	株式会社 ほっといん 鳥海	株式会社 フォレスト 鳥海
R4決算	資本金	60,000	86,400	96,000	30,000	30,000	50,000
	剰余金	▲ 62,831	▲ 91,513	▲ 112,669	20,657	9,885	▲ 35,835
	純資産	▲ 2,831	▲ 6,670	▲ 16,669	56,497	39,885	14,164
	当期 純利益	▲ 1,111	▲ 13,492	▲ 18,988	3,675	▲ 1,271	5,044
	売上高	72,422	163,797	98,797	123,321	43,905	239,853
	人件費	17,195	88,716	68,634	17,860	26,202	90,219
	市支出額	7,946	27,880	29,622	3,065	6,145	34,448
	指定 管理料	7,322	20,404	29,622	3,065	6,145	—
	コロナ関 連 補助金	624	7,476	—	—	—	14,448
	運営費 補助金	—	—	—	—	—	20,000
市貸付金	貸付残高 R5.3.31見込	27,000	—	—	—	—	—
	貸付内容 償還方法	短期貸付	—	—	—	—	—
民間借入金		3,000	17,910	35,691	3,114	—	5,992
R3純利益		▲ 810	▲ 2,905	▲ 2,241	▲ 1,552	221	▲ 9,912
R2純利益		4,230	▲ 26,260	▲ 9,639	2,975	1,008	24,739
R1純利益		▲ 2,016	▲ 13,378	▲ 13,479	502	162	▲ 395
H30純利益		▲ 3,302	▲ 13,986	▲ 13,130	177	526	▲ 8,179
H29純利益		2,277	▲ 3,705	▲ 5,431	▲ 5,951	▲ 213	▲ 2,722
H28純利益		1,082	▲ 555	1,604	▲ 3,237	124	▲ 5,731

※ 剰余金は、これまでの当期利益又は当期損失の累計額

※ 純資産がマイナスということは、資産よりも債務が多いということであり債務超過

※ 当期純利益がマイナスということは、単年度決算において赤字